

青年部活動の歴史

2005年



7代目会長

宮尾 幸之助

『地域の顔が見え始めた時代』

スローガン：新しいことにチャレンジし、それぞれがオンリーワンを目指そう

平成17年度、会員数が50名を超え、今や地域でも有数の組織に変貌を遂げた留萌YEG。青年部活動だけではなく、自社企業経営においても、それぞれが存在価値のあるオンリーワンを目指し新しいことにチャレンジする精神が必要と説く宮尾幸之助氏が第7代会長に就任した。同氏は会員増加に伴う体制として従来の3委員会を4委員会に増やし、密度の濃い委員会体制を組んだことから今年度がスタートした。

平成7年に製作され、数多くの市民の目を楽しませてきた「青年部あんどん」の全面リニューアルに取り組み、大きくグレードアップされた「新あんどん」が、横山対外交流委員長の指導のもと完成し、呑瀆まつりにて華麗に披露された。また武田事業研修委員長が、留萌YEG初の収益事業である「チャリティーライブ」を発案し、札幌より2名の出演者によるライブステージを実現させた。市民300名以上の観客を得、社会福祉協会へのチャリティ事業としても成功を収めた。

総務広報委員会では、さらなる内部疎通の充実を図り、単会を広くPRすべくHP内にブログ（書込み）コーナーを新設した。このブログには単会活動のみならず、経済提言、経営信条など多岐に亘る投稿がなされ、活況を呈すると同時に他団体よりも熱い評価を得、今後の青年部活動の広がり大いなる可能性を残した。

留萌ロータリークラブから講演依頼が寄せられ、特別事業室の澤井リーダーが同クラブで「ベトナムの風」を演題とする講話を行った。講話に幅を持たせるため金子総務広報委員長がスライドを作成、最後に同委員長が青年部活動の報告と力強いPRを行い、聴講者から多くの喝采を浴びた。

留萌YEGの今後進むべき方向性を定めるためにも過去活動の総括、検証が必要であるとの趣旨のもと、金子委員長が平成12年以後5年間の活動記録をまとめ上げた。これにより設立10周年記念誌上で「10年のあゆみ」で止まっていた青年部の記録が現在に引き継がれた。設立から現在までの青年部のあゆみは、HP上でいつでも閲覧できるようになっている。

【役員】

会長	宮尾幸之助
副会長	辻本 哲也・坂井 智 久保田慎太郎
専務理事	佐々木博史
理事	武田 佳彦・尾崎 勝之 横山 都美・串橋 伸幸 東原 幸司・宮下 秀和 金子 智美・岸 義人
監事	鵜城 善輝・鈴木 康伸
特別事業室	澤井 篤司・村上 直揮 昆 多利
顧問	江戸 雅夫
研修事業委員長	武田 佳彦
研修事業副委員長	尾崎 勝之
対外交流委員長	横山 都美
対外交流副委員長	串橋 伸幸
会員交流委員長	東原 幸司
会員交流副委員長	宮下 秀和
総務広報委員長	金子 智美
総務広報副委員長	岸 義人

【活動記録】

- 04月／第15回通常会員総会
- 06月／第1回研修会「西山支庁長 留萌を語る」
- 06月／OB交流親睦スポーツ大会・懇親会
- 08月／留萌呑瀆まつり「あんどん行列」参加
- 08月／道北協議会事業
「滝川リサイクリン視察研修会」
- 08月／親睦交流家族会
- 09月／チャリティーライブ
- 10月／第18回北海道ブロック大会参加（石狩市）
- 10月／道北協議会「留萌」
- 11月／三市町合同交流会
- 11月／平成17年度忘年会
- 01月／新年会
- 02月／第3回研修例会
- 02月／イラストレーター講習会
- 03月／第4回研修例会
- 03月／平成17年度卒業・祝賀会

